

大正六年十二月十九日第三種郵便物認可(毎月一回十五日發行)

阿武郡報

第二十六號

大正七年九月十四日印刷
大正七年九月十五日發行

發行所 山口縣阿武郡役所
山口縣阿武郡萩町
第二千二百六番屋敷
印刷所 株式會社萩馨海館

米問題

米騒動

今春以來漸次米價昂騰し多數國民生活の狀態困難を加へ人心漸く不安の念を生ずるに至れり富山縣中新川郡西水橋町漁業地に於ける婦女子饑餓に迫るに至りしとて八月三日午前七時頃三百餘名相携へて富豪を説き米商者を襲ひ遂に暴舉を敢てするに至る爾來同様の事大阪神戸東京京都廣島吳の各地を始め全國大小の都市より多くの農村漁村に迄蔓延して殆んど各地不穩の狀態を見ざるものなきに至りたるは誠に空前の不祥事なりとす之れ固より米價問題に原因する勿論なりと雖も漸次その性情を變して掠奪暴行と化し遂には國民思想の惡傾向あるを事實に証するものあるに至らしむ

○内帑金三百萬圓御下賜

一金三百萬圓 御 救 恤
右目下米價ノ騰貴ニ對シ人民困厄ノ情態有之趣聞召サレ賑恤ノ思召ナリ以下賜候旨内閣總理大臣ニ御沙汰相成リタリ
(大正七年八月十三日 宮内省發表)

山口縣告示

今般米價騰貴ニ伴ヒ人民困厄ノ情態ヲ聞シ召サレ 聖上陛下ヨリ金五萬貳千圓下賜セラレ賑恤ノ資ニ充ツヘキ旨内務大臣ヨリ達セラレタリ

大正七年八月十五日

山口縣知事 中 川 望

本縣下に於ては宇部の騒擾最も甚しくして安下庄の暴動之に亞く柳井防府小串山口船木小野田等不穩の趣ありたるも大事に至らずして沈靜に歸したり我阿武郡内に於ては秋市中に一時不穩の模様ありたるも間もなく平生に復し須佐奈古三谷など多少穩かならざるやうなりしも是亦何等の事なく漸次靜穩に歸せり

原因の調査

米騒動全國各地に及び漸く不穩の情勢を見るに至るや内務省に於ては監察官を全國樞要の地に派しその實情を調査せしめたりその調査報告として傳へられたるもの真相一端を知るに足るものと信し左にその要を摘載し他日の參考資料となす

騒擾の原因が食料殊に米價の昂騰に依るはいふまでもなければ近來富豪就中所謂成金の輩の豪奢跋扈が著しく世人の反感を買ひ居りし所米價の暴騰を動機として勃發したるは顯著にして神戸に於ける暴動の最も激烈なりしにも徴し得べし又米穀商が平時に於ても米穀の低落を喜ばず兎角騰貴を歡迎するの風ありて常に一般人民の利害と相反するものあり最近其價格騰貴に際するや同商人中在米を擁し乍ら容易に之を販賣せず法外なる高價を以

て販賣せしものあり之等の怨恨が原因となりしは争はれざる所なり政治的色彩は極めて薄く一二市會議員等が勢力擴張のため利用したるものありしが官衙に對して暴行を加へしは福井縣廳のみ危険思想の徒輩にして煽動試みんとしたる形跡なきにしもあらずるも短時日のため乘すべき間隙はなかりしものゝ如し云々

聖恩優渥

米價暴騰の結果所在不穩の狀あること早くも九重雲深き邊りにまで聞ゆ畏くも 聖上陛下には御救恤の恩召を以て特に御内帑金三百萬圓御下賜の御沙汰を拜するに至る聖恩優渥感激泣く能はざる所なり政府は此大御心を體して益々その窮狀を救濟するの緊要なるを認め國庫金一十萬圓を支出して國內貯藏の米穀を買收し以て廉賣の方法を採り尚必要に應じ強制買收の方法に依る事を決定し八月十六日官報号外を以て穀類收用令を發布し八月廿七日に至りては穀類收用令の規定に依る補償價格を左の如く決定し米穀買收を實行せり

一大正七年九月一日より二十日迄は一石に付三十三圓以内
一大正七年九月廿一日以降は追て改訂する迄は三十三圓以内

十圓以内

縣の救濟方法

斯くて漸次騒擾沈靜し人心亦漸く安定を見るに至れり中川山口縣知事は縣下各地の狀勢に細心なる注意を加へ部下吏僚を督勵して深く警戒せらるゝ所あり幸にその騒擾廣く各地に及ばずして沈靜に歸したるは何よりの事なり御内帑金御下賜の御沙汰あるや縣民生活救濟の方法を樹つると共に 聖旨奉答の誠意を披瀝する爲め直に縣下富豪を招致して特別寄附出金の事を謀り毛利公爵家御一族の三萬圓を筆頭として縣下富豪の寄附積んで既に十六萬圓の多きを算するに至る縣よりは恩賜金及特志寄附金に依る金額の一部を以て恩賜券救濟券を作り八月二十三日付を以て郡市長に訓令を發し之を配付せられたりその割當額左の如し

郡市	恩賜施米券	恩賜賑恤券	一般特志寄附に依る救恤券
大島	三二〇	三、〇〇四	三、〇〇四
政河	七〇〇	六、五七七	六、五七七
熊毛	四〇四	三、八〇四	三、八〇四
郡濃	四六八	四、三九五	四、三九五
佐波	四一六	三、九一四	三、九一四

吉敷	厚狹	豊浦	美福	大津	阿武	下關	合計
四九二	四〇四	五五八	一九〇	二二〇	五一〇	三二八	五〇〇〇
四六二七	三、八〇三	五、二五六	一、七七八	二、〇五八	四、七九三	二、九八七	四六、九九六
四、六二七	三、八〇三	五、二五六	一、七七八	二、〇五八	四、七九三	二、九八七	四六、九九六

郡は之を受けて更に各町村民生計の實情を查察し訓令發布と共に之を分配せりその訓令及配當額左の如し

町村長に對する訓令
米價騰貴に伴ひ一般生計困厄の情態に在るを聞召され賑恤救濟の恩召を以て内帑の資三百萬圓下賜せらる聖恩優渥感激の至りに堪へず今回右御下賜金に依り縣より恩賜賑恤券並に恩賜施米券の交付を受け町村に對し之を配付す當局有司宜しく御趣旨の存する所を奉戴し速に町村民生計の實情を查察して之れを頒給し聖恩に奉答するの途を講ずべきなり尚公爵毛利家一族並に縣内篤志者及び内務省の配付に係る民間篤志寄附金を合し第一回として縣より賑救券の交付を受け茲に併せて之を配付

是又速に適當の措置を以て奉公謝恩の至誠を効すべきやふ一層努力せらるべし

大正七年八月二十二日 山口縣阿武郡長 岡村勇二

町村	恩賜米券	恩賜賑恤券	一般特志寄附に依る恤救券
萩	五三	四、四三	四、四三
椿	一三	一、四四八	一、四四八
山	七	三八八	三八八
三	一〇	八一三	八一三
明	一〇	五八〇	五八〇
佐々木	六	三二九	三二九
川	六	三一六	三一六
篠	七	七二一	七二一
生	五	三九九	三九九
地	一	八八九	八八九
德	一	四八三	四八三
嘉	二	七八四	七八四
高	四	三三六	三三六
吉	四	四三五	四三五
部	五	五〇一	五〇一

町村長集會

八月二十日開催の本郡町村長集會に於て指示したる事項左の如し

- 一、恩賜金及義捐金分配に關する件
- 二、町村内米穀廉賣に關する件
- 三、内地米補給調節に關する件

福	紫	大	奈	宇	福	須	彌	小	田	六	見	合
川	福	井	古	田	賀	佐	富	川	万	島	島	計
一一	五	七	一	三	六	一	四	二	八	四	五	二
五九三	四一九	四五五	七九三	三〇〇	四二五	一、〇〇三	四一三	七二四	七二一	三三七	四三七	一九、一七五
五九三	四一九	四五五	七九三	三〇〇	四二五	一、〇〇三	四一三	七二四	七二一	三三七	四三七	一九、一七五

郡會及郡參事會

八月廿六日臨時郡會を招集して左の事項を議決し同日閉會したり

- 一、大正七年度阿武郡歳入歳出追加更正豫算
 - 一、大正七年度阿武郡積立金歳入歳出追加豫算
 - 一、郡會議員及名譽職郡參事會費用辨償額及支給方法
- 九月十日徴發馬匹輸送費其の他に關し郡制第五十六條に依り郡參事會を招集し左の事項を議決し同日閉會したり
- 一、大正七年度阿武郡歳入歳出追加更正豫算

條例許可

大正七年八月二十日 小川村督促及納付命令手数料條例 大正七年八月廿九日 紫福村住民印鑑に關する條例

神社例祭

本年十月中に於ける郷社の例祭日左の如し
十月三日 福川村八幡宮
十月四日 生雲村八幡宮
十月十八日 三見村八幡宮
十月廿九日 佐々並村六所神社

夏期講習會

阿武郡教育會は八月廿七日より全卅一日迄萩町明倫小學校に於て明石女子師範學校訓導永長郡事氏を聘し分團式動的教育法の講習會を開催せり出席會員百六十名講師は毎日午前八時より正午迄頗る熱心懇切に講演ありし爲斯道研究の端緒を開き効果尠からざるものありと認む全卅一日午後一時より終了証書授與式を舉行せり

教育品展覽會

阿武郡教育會は夏期休業中を利用して八月廿七日より全卅一日迄五日間萩町明倫小學校内に於て教育品展覽會を開催せり其出品總点数六百四十五点にて之を分類すれば左の如し

- 一、小學校教授細目及教授資料 一〇六点
- 一、實業補習學校教授細目及教授資料 一六点
- 一、町村吏及郷土吏料 一三点
- 一、小學校教授用教辨目錄及設備完了計劃案 一二点
- 一、小學校兒童身体發育表及體育獎勵上の施設 四六点
- 一、小學校及實業補習學校各科教辨 一五三点
- 一、教室內常掲の地圖及歴史年表 七一点

一、時局に對する教育上施設 一点
 一、其他小學校實業補習學校青年團
 壯年團及婦女教育社界教育等に 二二七点
 關する研究調査工夫考案物
 審査は廿五日より開始し左の諸氏之に從事し廿七日審査
 終了を告げ全日より一般の縦覧を許したるか觀覽延人員
 五千二百五人にして審査の結果一等四点二等十七点三等
 四十六点四等百四十四点計百七十一点を撰拔擬賞せり

審査長

山口師範學校教諭兼全校附屬小學校 主事 大庭儀三郎

審査員

山口縣視學 岡乙次郎
 吉敷郡視學 木原茂也
 大津郡視學 中野太三郎
 山口師範學校附屬小學校 訓導 山縣里策
 阿武郡立實科高等女學校 教諭 藤野カチ
 全校教諭 堀江ウタコ

褒狀授與式は二十九日午前十一時半明倫館講堂に於て之
 を舉行す
 今回の展覽會は從來の之れに比し出品の總數に於て多大

の差違あるのみならずその質に於て著しく向上進歩の跡
 あるを認む之れ日頃郡内多數教員の忠實熱心にその職に
 勵み考案工夫に意を用ひ特別努力せるもの多きを知ると
 共に郡下各方面に於ける教育の實績面目一新の感あるは
 誠に喜ぶべきことなりとす審査長審査の報告及受賞者氏
 名と掲ぐれば左の如し

教育品展覽會審査報告

審査長 大庭儀三郎

審査標準

一、着眼

- 1 教育上現時の要求に應ずる程度
- 2 教育上の欠陥を補ふるに足るか否
- 3 教育上の進進に益すべき創意の有無

二、成績

- 1 内容の正否、不完の如何
- 2 叙述製作の精粗、繁簡
- 3 勞力の大小
- 4 体裁(記載方、巧拙美醜等)
- 5 分量
- 6 經濟の顧慮

三、効果

果

- 1 實際上の適否
- 2 取扱上の便否
- 3 兒童成績の良否

右三項の採点配當

一、著眼 三〇点

二、成績 四〇点

三、効果 三〇点

合 点 九〇点以上(二等) 八〇点以上(二等)

七〇点以上(三等) 六〇点以上(四等)

二成績物に對する所感

第一類 小學校教授細目及教授資料 百六點

(甲) 細目に就て

体裁の種別を分ては帳簿表記式、教科書記入式、カー
 ド式の三あり編製方には教科別と學年別とあり記載方
 には凡例、月週時、教材要項、補充事項、郷土資料と
 の連絡、他教科及教材との連絡、教授上の注意(教辨
 方法、主点等)修正欄(實驗上の反省、教材の点動等)
 の諸項あり

要するに1帳簿表記式を可とし 2科別年別兩種ある
 を便とし 3成るべく記載諸項を兼ねるを完全とす尙
 簿冊の裝綴堅牢にして年別は合册科別は分册を便とす

今回の出品には記載方の項目區々にして所要事項の幾
 分を欠如すと雖も然も次第に完成の域に近づけるもの
 尠からず殊に如何に作製せば教授上有効にして實際に
 便なるかの工夫に苦心せられたる点頗る顯著なるを認
 めらる

(乙) 教授資料に就て

資料の蒐集は教材内容を委曲に且確實に準備するに便
 宜なるのみならず教科書中の一般的記載を敷衍し補充
 し模寫するに便なり殊に教科書に使用せざる場合に然
 りとす蒐集方に就きては

- 1 選擇の標準を立すること
- 2 主副輕重を察し記載に精粗あるも妨げざるべきこと
- 3 書冊より轉記抄すること必要なれども更に自

己の觀察實驗の結果を記載すると必要なりとす
 4 郷土上の注意と顧慮を忘れざるべきこと

今回の資料蒐集は以上の要求を充すに足るもの尠から
 ず大に出品者の苦心と用意とを認むるに足る但更に擴
 充して然も精撰せられんことを望む

第二類 實業補習學校細目及其教授資料 十六點

那には實業補習學校二種三十餘校あり斯種の教育は今

後大に普及發達するに至るべく随つて或は義務教育の制度たるに至るかも圖られず戰時中の英佛に於ても盛に案件として思議せられつゝあり我邦にありても政府當局を始め縣郡當局は夙にその方針を有せらるゝが如しされば此種の教育を經營する處にありては更に有効なる研究と施設をなし以て其の發達促進に資せられんことを望む

補習學校細目は前述小學校細目と同斷の要件を具備するは勿論資料蒐集と共に更に一層郷土的彩色を加味すること及び尙訓育方面の研究施設に工夫せられんことを望む

第三類 町村史及郷土誌

十三点

教育上の所要事項を網羅すると共に記述の繁簡宜しきを得ること

郷土誌は自然人文を兼ねたるものを便宜とす這回出品物を觀るに本郡は尤も價值ある史料に富み教育上殊に訓育に關し多大の便宜を有せらるゝを以て他縣に罕に見る成績あり但更に各校に於ても夫々調査を完了せられんことを望む

第四類 教辦目錄及設備案

二十二点

教辦の整理如何とその完備如何とは教授の效果に及ば

す影響極めて大なりされば成るべく之れが充實と整理とを期せざる可らず完實の方法としては購入によるものと教師の製作蒐集するものとあり購入によらざる標本類は成るべく同一のものを多數準備するを可とすべく帳簿には購入と製作とを別記するを便とす整理の方法は所在を知るに便ならしむる爲に教辦室を圖解するか合番号を附するかの手段とより細目の記載事項と一致すること簿冊は大ならざるを便とす這回の出品には右に要求に合するもの尠からず一般に良好なりと認められたり

第五類 兒童身體發育表及施設

四十六点

表を成るべく小形にすること

用紙表装を堅牢にすること

身長胸圍の尺度の基準をなるべく同一にすること

符号の記入繁雜ならしめざることを

各個人の發育と標準發育との比較或は年度學級の比較統計等を成るべく管略に表示し得るやう更に工夫を進められんことを望む

體育施設に關する記録は二、三校に過ぎざりしか何れも施設状況を窺ふに足る但兒童の體育方法の種別につきてはその採擇を慎重にすべきことは勿論とす

第六類 小學校補習學校各科教辦

百五十三点

教辦は既成品を購入する外に大に教師の考案製作に於つにあらざればその完備を期し難し之れ大に努力を要することなれども斯道研究の進歩及教育上の効果に好影響を貽すこと尠少なからざるを以て努めてその學に出でられんことを望む出品を見るに此点に於て多大の用意と苦心とを傾注せられあるを見るも尙各科に涉りて意匠工案を進められんことを望む

第七類 教室常掲地圖及歴史年代表

七十一點

地圖に就ては經緯度を記すること、方位縮尺を附記すること

圖の大小は常掲教室の大小に準すること、更に各種の部分圖製作を試みられんことを望む

年代表に就ては繁簡宜しきをうることを、成るべく小型にすること

時代命名は必ず國定教科書に準據すべく他の參考書に使用せる命名を避くること、彩色の濃淡を適當にすること、成るべく簡潔明瞭なること

出品中には以上の要件に適せるものも尠からされども未だ分量に於て十分といふを得ざりき

第八類 時局に關する施設

一點

歐洲戰爭地圖各種、戰時狀況資料、時局調話資料等の諸項につき施設を試みたる結果を發表せられんことを望む

昨今時局の進展は更に帝國に喫緊焦眉の關係を生じ來れるが如きを以て更に一段の施設を試み以て戰時氣分を緊張し兒童に深甚なる印象を與ふること更に切要なるを望む

第九類 兒童成績品

第一〇類 其他青年團婦女教育、社會教育等

二百十七點

時代が斯種の施設經營を重要視する時に當り實際各學校を中心として夫々施設せる處多かるべしと信ず這回記録物出品中には成績の優良なること實に想像に餘りあるものあり一般學校に於ても斯かる施設を整理して記録となし且實際收め得たる効果を察し斯かる機會に於て大に世に紹介し以て參考に資せられんことを望む

以上各部類に對する所感なり、總て今回の出品は數に於て前回に倍し實に於て學校教育社會教育の全体に涉らざれば出品者は其の研究工案製作等の定備と充實とを期せんとして致せる多大の用意と苦心との跡歴然たるものあり但中には個人の努力出品に於つよりも職員全体一團と

なりその個人の部分的努力相合して以て集大成をなすか如き準備を要すべかりしものありたるを認めれども要するに郡内各校は何れも教育上有効適切なる事項に着眼し而してその製作は専ら實際家の苦心に成りたるもの多きは確に斯道研究上一段の歩武を進めたるものにして審査員一同と共に推稱して己まざる所なり

壹等受賞者

品目	受賞者又ハ受賞点数
隣縣に及ぼせる防長郷土史地圖 樺村青年團指導及補習學校教育方針並其實際 青年團勸導奉讀日訓要目 公民教育要目 青年教育常識要目 青年教育樺村の今昔 報徳會に關する成績表 我農農業科施設状況並教辨	明倫尋常高等小學校 訓導 香川 政 一 樺西尋常高等小學校訓導兼 校長 大和 春 三 明木尋常高等小學校 彌富尋常高等小學校訓導兼 校長 神野 常 萬

二等受賞者

品目	受賞者又ハ受賞点数
裁縫科教授細目 青年團に關する施設經營方案並其ノ實際 實業補習學校修身科教授細目 全美術科教授細目 尋常小學校地理直觀的彙編的研究 尋常小學校地理教授上の注意 小學校外國地理教授書 文法教授研究	樺東尋常高等小學校 明木尋常高等小學校 三見尋常高等小學校 高伏尋常高等小學校 訓導 佐々木 榮 熊 高瀬尋常小學校訓導兼 校長 張 忠 一

尋常科第五學年地理科教授細目並附帶地圖模型
明倫教養條規
史的教養の必要及實際
本校教育案及各學級教育案
裁縫科に於ける訓練の研究
普通教育に於ける裁縫科
美術基本教材
美術科に關する教辨
郷土的美術科教授資料
數的踏施設
教養運用に關する研究
日訓資料
廢物利用標本
裁縫掛圖
衣服各種實物標本
裁切標本
動的教養法を我校の裁縫教授
應用したる我校の裁縫教授
織物標本
部分標本
小學校教授細目
圖按教授參考資料

明倫尋常高等小學校 訓導 香川 政 一	明倫尋常高等小學校 訓導 大和 春 三	木間尋常小學校 訓導 上野 マス	樺西尋常高等小學校	佐々並尋常高等小學校 佐々並尋常高等小學校訓導 兼校長 瀧部 求 治	佐々並尋常高等小學校 訓導 阿藤 三 三	德佐尋常高等小學校 德佐尋常高等小學校訓導兼 校長 河村 要 一
------------------------	------------------------	---------------------	-----------	--	-------------------------	--

阿武郡教育會總會及史蹟保存會並青年團幹部會

八月廿九日午前一時五十分明倫小學校講堂に於て開催す本日出席會員三百二十人新聞記者等なり、東幹事長開會を宣し唱歌君が代及勸語捧讀あり次に幹事長會務を報告し岡村會長の式辭を朗讀しそれより教育會評議員十一名史蹟保存會評議員十四名の選舉に移り會長の指名にて左の諸氏を推舉せり

三等受賞者 四十六点
 四等受賞者 百四点
 計 百七十一點

教育會評議員

岩田博藏	齊藤彦一	内田一心
山中貞七	小野彌市	谷井職太郎
信國顯治	須子五郎	櫻井民次郎
大和春三	佐伯民一	
史蹟保存會評議員		
瀧口吉良	岩田博藏	齊藤彦一
内田一心	平野 敏	厚東 毅 一
森田豊吉	藤井一郎	安藤 紀 一
中野貞介	谷井職太郎	信國顯治
香川政一	吉田祥朝	

青年團員懸賞問題

次て岡村會長は更に左記懸賞問題の發表をなしたり
 一金一圓を與へなば如何に有効に利用せんとするか
 次に北川大佐の祝辭あり續いて永長郡事、附屬小學校主事大庭儀三郎、西原爲五郎諸氏は有益なる講演ありて多大の感動を與へたり其要領別記の如し
 右終るや岡村會長は講師並に來賓又謝辭を述へて閉會を宣し一同退場せり

總會に於ける講演要領

個別教育は果して復古的のものなりや

兵庫縣立明石女子師範學校訓導 永 良 那 事

近世教育の重大問題として天才教育早教育が學者間に唱導され雜誌新聞紙上等に於ても屢々之れを見る個別教育法は我國に於ても寺小屋時代既に之を行へり歐米諸國に於ては十七世紀迄は主として個別教育法に依れり。

現時に於ける我國の個別教育法は果して寺小屋時代のもの、復古せしものなりや決して然らず今日の個別教育法は主義より出でたるものにして寺小屋時代のものは自然的のものなり故に復古的のものならざること明なり。

▲寺小屋時代の教育

寺小屋時代の未だ社會の進歩せざる時よ於ては國家を教育することなく唯或特殊のものに止まり社會國家的のものにわらず一般よりいへば社會國家の要求として一員を教育せるものにして教育は任意の作用なりしなり。されば教科は課程なく秩序的のものにわらず止むを得ず個別に出でたるものにしてかゝる見地より個別教育をなせしなり。次で社會の漸次發達するに隨ひ國家は更に保存上其要求により或特殊的教育即ち個別的取扱をなす

に至る。

昔希臘の如きも教育は一の裝飾に過ぎざりしが世の進歩に伴ひて學級組織の必要を認むるに至る。コメニウスの如き大いに學級教育を主張せるものなり西曆一千六百二十八年より一千六百三十八年に亘り大教授書を著して盛に學級教育を鼓吹し後佛人ダサール、英人メル、英人ダルクスターの三氏も又コメニウスの説を汲みてこれを大成せり。

我國に於ては寺小屋時代個別教育を行ひしも維新以後學級教育即ち一齊教育に一變せり然るに最近に至り個別教育の思潮勃興せり。

▲個別教育の三大理由

- 一、社會國家の要求上
 - 二、近世産業の發達
 - 三、劃一教育の反省
- 社會國家の進化發展は個人の進歩發達によること
 近世産業の發達するに隨ひ社會は會社及工場の如く或統一組織を形成するに至れること。
 兒童心身の發達に對する科學的研究によること。
 以上の理由により個別教育なるもの再び發生したるも決して復古的のものにわらず。

▲個別教育の長所

- 一、智能 兒童適應の智識技能を發達せしむること。
- 二、訓育 個性の觀察を成し易からしむること。
- 三、人格の反映 教師と兒童とは接觸するものなれば教師の人格は直接に兒童に反映するものなること。

▲劃一教育の長所

- 一、時と人に於ての經濟 一時に多數兒童を教育し易からしむること。
 - 二、學習に精氣を與ふ モイマン、トリブレイト、シムットの三氏の實驗により明なること。
 - 三、國家社會的の訓練をなす上に於て 國家社會の有力なる一員としての教育をなすことを得せしむること。
- 右の見地よりして兩者を併せ用ふるとによりて効果多し要するに個別教育は寺小屋時代の遺物にわらず個性に順應する教育にして一齊教育と個別教育とを併せ用ひて最も効果大なるものとす。

獨創力の養成よつきて

山口師範學校教諭附屬小學校

主 事 大庭 儀 三 郎

總べて世が一定の場所に停滞し居れば新要求起らず社會

の進むはつれ民想が色彩を異にするると共に社會が要求するところも亦異なるなり、此の社會進運に伴ふ種々の要求を教育實際家は如何に見るや、今村視學官殿の御話中「萬事に注意深く觀察すること必要なり」とありしが如何事も注意深く觀れば皆新なり故に教育者は社會の要求に對し其の要求の真相を明白にし何物が其の中に包含せるや又其の中より何物を發見し得るやを調べ社會進運に伴ふ教育の施設をなさざるべからず、余も數年間實際教育に離れ居れば本問題を如何に解決すべきか未だ充分研究せしむらざる

世には教育の力にて何事もなし得るが如く考ふるものありどもこは教育可能を過信せるものなり然れども實際家は例へ出来ざる事も果すべき自信を持ちて進むべきことは忘るべからず

米國の或る學者の説に「考へると云ふことは教指も傳達もなし得れども如何に考ふべきかは不可能なること也」と獨創力養成方法を今如何に言説にて説明すとも充分に得る能はずされば余の今言はんとするも獨創力全部の解決にわらずして如何にして養成すべきかは各自の研究に委せ要は問題提出に過ぎず而して我が國民性は獨創力の點に於て多少其能力の缺けたる点あるにわらずや否養成

せざるにありと云ふ人もあれど果して日本の國民性が獨創力に缺けるや否やは國民性につきて十分調査せざれば決せられず

總べて獨創力は社會の事情其の必要に迫られて發達するものにして我が國民性は根本的に缺きたるにあらずして從來其の必要少かりし爲めなり即ち歴史上の事情より見て其の能力を發達せしむることの必要なかりしが故ならんと思はる点なきにあらず

次に獨創力の萌芽發達に對し何等か妨害を加へつゝあるにわらずや、社會がこれに對して顧みざるにあらずや又試験制度が妨害するにあらずや、社會の施設が獨創力の發達を助長し居るや否や等種々の方面より考へざるべからざると共に其の獨創力の養成につき學校實際家が如何なる方法を取るを可なりとするや、さきに述べし如く獨創力養成の方法としては別は具体案なし、されど第一に教授の間に於て獨創力の養成を如何にすれば有効であり又養成が幾分なりとも其の結果を表はすかを考へざるべからず教授方法の根柢には動的教授法、形式的推理推論法則に基きて行ふ方法もあるべし又論理的順序による方法をとることもあるべし兒童心理を出發点としてなす方法もあるべし故にこれ等の方法を獨創力の養成に適合し

改良して行はざるべからず然らばこれに對して如何なる方法を選ぶべきかは各教授者の心中にあり、然しこゝに必要なることは教授者の態度によりて兒童思考作用を盛んにし獨創力を養成する一事なり、教師もこれを認めて兒童を教導せざるべからず教授の方法よりも教師の態度を以て其の力を伸展すべきなり

更に獨創力の養成は教授のみならずして忍耐競争、注意の努力、解決せんとする動機、解決創作する創作的快感を盛んに起す点より見るも教授のみにあらずして訓育上大切なることは明なり

すべて發明工夫は常識より湧く、其の内容が迷信より來るものなれば創作力は起らず西洋の常識は科學的なり、兒童の常識が迷信より成れば種々の發明工夫は出來難し日常の現象を表面的に觀る間はそれより湧く想像は眞正の獨創力とはならず故に幼稚園より學校と幾分科學的に組織せられ長き年月を要したる性質のものと思はれ信ず、事物につき尙々深刻なる觀察を下さざる間は兒童には獨創力は養成せられずこれは理化教授上重要な問題なり今後教材を取扱ふ上に徹底せる深刻なる觀察をなすは必要なることにして事物の上に精細深刻なる觀察をなす習慣を養ふときは卒業後科學的の常識を有し科學者の如き

觀察をなすに至らん、されば教育者は今一層獨創的の態度を取らるべし模倣のみならずは外國の社會の要求に左右せられ外國の要求を追ふのみにして決して日本の教育は充分なる進歩はなさざるべし

我々はより一層の自信力を持ち其の自信力にて萬事を實行し教師は先づ獨創力に富む人となりて兒童を導くこと獨創力養成に必要な要件なり

歐洲西部戰場の概要並に所感

第五師團參謀長陸軍歩兵大佐

西原爲五郎殿講演

余は今回地方馬徴發のことに關して本郡徳佐村に出張せしものなるが岡村郡長の御要求により序を以て當地に立寄り賢明なる諸君の前にて一場の講演を試むるは余の最も光榮とする所なり、されど講演とて別段珍しき材料を有するに非ず唯歐洲大戰の影響によりて進歩改良せられたる兵器及び西部戰場に於ける戦況の概要を述べ最後に余の所感の一端を開陳して諸君の参考に供せんとするのみなり。

御承知の如く歐洲の大戰は今より五年前に突發せるものにして、當時獨逸は戰團準備既に完成し居たるもの、如

く、佛國の準備未だ成らざるに先ち大軍を以てベルギーに攻め入れり。ベルギーは有名なる築城國にして之が爲め獨軍の攻撃は稍々遅延せられたるの嫌あれ共、しかも精銳なる彼はよくベルギーの金城鐵壁を突破し忽ちにして佛の國境に迫れり。然るに佛國に於ては獨の大軍は必ずやアルサス、ロートリンゲンより入るべしと思惟し、其の方面に主力を集中し居たりしかば、兵をベルギー方面に輸送するの必要を生ぜり。この間多少の日子を要したる爲佛軍は戦況日に不可となり、佛軍總司令官は一時全軍に退却を命じ改めて獨軍に當るの計畫に變更するの止むなきに至れり。即ち全軍を巴里に程近きマルヌ河の線に退却せしめながら各種の機關を用ひて第四軍を西方に送り以て之を援護せしめたり。獨軍は破竹の勢を以て追撃し來り佛軍の中央を抜かんとせしも佛第四軍の攻撃其の功を奏し、獨軍之がために却つて撃退せられ、豫て準備せる佛國內の陣地に止まるに至れり。此に於てか兩軍は始めて相對峙するの形とはなれり。

凡そ戰術上の秘訣は迂回して敵の翼に出で之を包圍するにあり。兩軍も亦此の法によりて互に敵を包圍せんと企圖せしかば戦線は次第に北方に延長せられて遂に海岸に達するに至れり。この間にありて兩軍は塹壕を堅固なら

しめんが爲、全線に亘りて強固なる大工事を施したり。今其の工事の概況を説明せんに、塹壕は其の深さ十米乃至二十米にして煉瓦コンクリートの類を以て掩蔽部を造り、要所要所に機關銃を備へ付けたり。而して之が掩蔽も亦完全に施されて間然する所なし。陣地の前面には鐵條網、鹿砦等を設けて障礙物とせり。而して陣地は百米毎に塹壕三線を設け各壕は交通壕によりて前後の連絡を保つ、之を第一陣地とす。かくの如き陣地の後方には更に八百米乃至千米を隔く、第二第三の陣地あるを普通とし、其の構造に至りては第一陣地と異なる所なし。各陣地間にも亦交通壕ありて以上の陣地を上空より見下す時は其の状恰も蜘蛛の巣に似たりといふ。掩蔽部の深くして堅固なる箇所に至りては四十二珊の巨砲を以てするも破壊し能はずといふ。其の堅固なること推して知るべきなり。

普通の戦闘は密集隊形又は散兵線によりて射撃と前進とを繰返し、最後に銃剣にて突撃するを以て法とす。然れ共陣地既に前述の如くなるを以てこの法によりて勝敗を決せんことは殆んど不可能なる状態となれり。茲に於てか戦術兵器共一變し、殊に塹壕戦に必要な特殊兵器の發達に至りては驚歎の外なしといふも敢て過言にあらざ

るべし。試みに其の一端を紹介すれば次の如し。

一、四十二珊榴彈砲

戦前既に獨逸の準備せる巨砲にして獨逸は恰も今回の大戦を豫想せるものゝ如く、築城を以て名高きベルギーの堅固なる要塞を破りて佛國に侵入せんには、大口徑の野砲を要すとなし、密かにクルップ會社に命じて之を造らしめたり。されば獨軍のベルギーに攻め入るや若干の抵抗ありしにも拘はらず、よく其の堅壘を破りて吾人の豫想よりもより早く佛國の境に迫れるなり。砲には榴彈砲と加農砲との別あり、榴彈砲は砲身長くして曲射に用ひられ、加農砲は砲身長くして平射に用ひらる。

口徑 四二珊 砲身 五米

重さ 八八七二〇基(我が二三七〇〇貫に相當す)

彈丸の重さ 二五〇貫

如何なるものもこの砲に抗すること能はず、砲丸の破裂によりて生せる巨穴は直徑十米深さ四、五米に達してさながら噴火口の如しといふ。以て其の威力の如何に大なるかを知るべし。されど巨砲の製造、發射には多額の費用と卓絶せる技術とを要するは勿論、砲の壽命も亦頗る短く凡る二十發を發射すれば使用に堪えざ

るに至る。

二、長距離加農砲

この砲の製造は開戦前なるか果た開戦の後なるか不明なれ共本年三月二十一日西方戰場に於て獨軍の巴里に向つて發砲せるを以て嚆矢とす。この時巴里市民の驚愕一方ならず、佛軍に於ても敵飛行機の襲來して爆彈を投下せるものならんと想像して直ちに探索せしめしも其の片影だに認むることを得ざりき。後研究の結果漸く其の長距離砲なることを知り得たりといふ。而して獨軍よりは以後連日この砲を發射せるため、或時は巴里市中の耶穌禮拜堂に命中して數十人の死傷者を出したることもあり、時には百數十人の死傷者を出せることもありて市民は常に戦々恐々たりと。

學理上より見れば砲の肉の厚さを厚くすること、彈道を高くすること、は彈丸を遠距離に送らんが爲に最も必要なることにして彈道を高くするは一に空氣の抵抗を少からしめんが爲なり。専門家の研究によれば獨軍の使用しつゝある長距離加農砲は口徑二十一珊位にして砲身の長さ二十二米、彈道の高さは二十八キロメートル(約七里)にして富士山の高さの七倍に達し、砲丸の長さ又一、五米位ならんと推測せらる。

三、追撃砲

獨逸軍にて前二種の砲を用ふるに至り、聯合軍にても亦之に對して大口徑の砲を使用するに至れり。即ち普通野戦に用ふるものは二十四珊乃至三十八珊位のものなりといふ。日露戦役にて我が旅順包圍軍は既に二十八珊砲を使用せりと雖、しかも野戦に用ひられしことは極めて稀なり。

大口徑の砲は運搬頗る困難なればこの弊を除き、功力に於ては前二種の砲と比較して遜色なきものを得んと欲してこの砲専ら研究せらるゝに至れり。尤もこの砲は日露の役に於ても我軍によりて使用せられたり。然れ共當時は竹筒、木筒等によりて發射せるに止まりしが今回著しく進歩せり。分解すれば容易に塹壕中に持運ふことを得べく、自由に發射して二十八珊砲などと同効力を示す。彈丸は柄を有しこの部分のみを砲口に入れて發射す。故に口徑は割合に小さく、彈丸は割合に大なり。彈丸には又羽根を有するものありて行進を調節す、かくの如き彈丸は之を空雷と名づく。

四、機關銃

日露戦役の經驗によりて必要を感ずること切なるものありて一層改善せられたり。

戦前一個聯隊の有する機關銃の数は僅々六十に過ぎざりしが、現今は一箇大隊既に六十を備ふるに至り、一箇師團の有する数は百三十乃至百四十を算するに至れり。而して一臺の機關銃を操縦するには三人乃至五人の兵士を要するを以て茲に輕機關銃の發明あり。各國盛に之を用ふるに及びて一箇師團の所有する機關銃は益々多數とはなれり。

五、手榴彈

日露の役兩軍の既に使用せるものにして、塹壕戦には必要缺くべからざるものなれば、各國研究の結果非常なる進歩をなし攻撃防禦何れの場合にも使用せられ、形も亦種々ありて一様ならず、即ち球狀のものあり、立方體のものあり、扁平なるもの等あり。中には布、藁等を附して投ぐるに便せるものあり、又敵陣に落ちて發火爆發するもの、手を放るゝや發火し敵陣に於て爆發するもの亦あり。

六、擲彈銃

手榴彈は手にて投ぐるものなれば着弾距離三十米内外にして五十米に及ぼすことは困難なり。此に於て稍々遠距離まで彈丸を送らんが爲に發明せられたるものは即ちこの擲彈銃なり。大さ小銃の如く、彈丸は追撃砲

と同形なり、之を發射したる後敵に向ひて前進を企てんとするものなり。

七、自働車

運搬用自働車、装甲自働車(タンク)の二種類あり。開戦前各國の有する自働車の總数は十二三萬輛に過ぎざりしか最近の調査によれば實に三十萬輛を超ゆるに至れり。

装甲自働車

砲を載せて武装せるものなり。されど陣地戦には使用せらるゝこと少く、騎兵と共に敵陣地に入りて敵をおびやかす。

八、毒瓦斯

装甲自働車即ちタンクと稱せらるゝものは塹壕戦の結果英軍の發明せるものにして、タンク自身の重さど大なる速力により鐵條網を破り塹壕を越えて前進するものなり。而して機關銃などの備付あり。本年三月二十一日以後の戦に於ては各國共に之を用ふ

重量十一貫目(藥品五貫目入)のもの二千四百個を装置せざれば其の効充分ならざる事情とあり。

之がため近時砲彈中に毒瓦斯の發生装置をなせる毒瓦斯彈發明せられて盛に使用せらるゝに至り。瓦斯管による毒瓦斯の發射は次第に少くなれり。

最近又火焰發射管の發明あり、これは敵に火焰を浴せかくるの目的のもとに考案せられたるものにして有効距離三十米乃至五十米なり。

九、航空機

航空機には飛行機、飛行船、繫留氣球の別あり。戦役前既に發明せられたれ共、今回著しく進歩せり。昨年十月の調査によれば英國軍隊中飛行機操縦將校は實に十二萬五千人の多きに及べり。

各國の飛行機数は次の如し

英吉利 四〇〇〇

獨逸 二五〇〇

伊太利 一〇〇〇

用途によりて分類すれば次の三種となる

爆彈投下用

市區の上にとりて爆彈を投下するを以て任務とす

驅逐用

敵機を驅逐するを任務とす、従つて速力を大ならしむること、高く飛揚すること、兵器を備付くこと等の必要を生ず

偵察用

砲兵と連繫を保ち無線電信によりて砲の効力を知らしめ、寫眞機によりて上空より敵陣地を撮影し之を司令部に送りて其の模様を知らしむる等の任務を有す

これが爲寫眞機の發達は驚くばかりにして肉眼にては見難き二千米以上の上空より優に撮影し得べく而して其の寫眞は頗る明瞭なるものなり。或は又斜の位置にレンズを据付けて撮影し陣地内の距離高低をも知るに便ならしむる等實に至らざる所なし。かくて之を司令部にて現像し各軍に配布するに二時間を出でずといふ

次に西部戦場の概況を述べん。

一、ヘルマンの戦

本年三月に至るまでの上半分は獨軍其の主力を露國方面に注ぎしかば西部戦場は聯合軍の活動多かりしも一昨年二月頃より獨軍はヘルマンに向つて攻撃を開始せり。獨軍はかつてヘルギーの堅壘を撃破するに當り、

四十二砲を用ひて大効を奏せし經驗に鑑み、本戦に於ても頗る多數の四十二砲を使用して精銳を盡せり佛軍に於てもこの要塞こそ一國安危の分るゝ所なれば上は將校より下兵卒に至るまで非常なる困苦欲乏に堪えてよく戦へり。或砲壘の如きは漸次味方の兵の死傷して只一兵卒を残すのみとなるまでも奮闘せりといふかくして戦は六月に至る迄繼續せられしかこの間佛軍は次第に破られて、朝に砲壘の一角を失ひ夕に塹壕の一部を奪はれて、今や聯合軍の危期は迫れり。この時に當り英佛軍は大舉してソナム方面の攻撃を開始す。之がため獨軍はベルゲン方面の兵を抽きてこれに對抗するの止むなきに至りしかば、ベルゲン漸くにして安きを得たりしなり。

二、ソナムの戦

ソナム方面の攻撃は英佛軍の周密なる用意の許に資力を惜しまず大規模の攻撃を開始せしものなれども諸種の事情のために豫期の目的を達することを得ざりき。その原因につきては事専門に亘れるを以て此所には之を省略することす。

其後諸種の作戦も皆効なかりしかば世人をして堅固なる陣地の正面攻撃は到底不可能なるものかと思惟せし

むるに至れり。

然るに獨軍は本年三月アミアン方面の正面攻撃を開始せしが間もなくマルスの線に達し、巴里を距る僅かに三四十哩の所に到りしかば再び世人をして聯合軍に果して準備ありしや否やを疑はしむること、はなれり。

現時は米軍の増援等によりて聯合軍優勢の地位に立ち、三月以來失ひし陣地の大半を奪還するに至りしも尙目下の處獨軍をして伯林城下の盟をなさしむることは勿論、ライン河畔まで攻め寄することさへも困難事なるべし。

何となれば目下獨軍の踏み止まれる陣地は英佛軍の營で築ける塹壕の跡にして獨軍にとりては頗る不利なるにも拘はらず現時の情態を示せるを以て獨軍の頑強なること察するに難からざるへし。

今回の戦亂が吾人に與へたる有形無形の教訓は頗る大なるものにして今其所感の一端を述べん。

第一は國民教育の普及徹底を必要とすることなり。

上述の如く兵器の發達は近時愈々著しく従つて之が操縦には能力ある兵士を必要とす。尙方今の戦闘は散開して各自獨斷的の行動をなさざるべからざること多く、特に塹壕戦にありては一々指揮官の命令を待つこと能はず、兵卒自身の考慮によりて行動せざるべからず。かゝる状

態にあるを以て今後は益々より以上の知識ある兵卒を必要とすなり。

最近の調査によれば各國無教育者の數、一萬人中獨逸は二名、英國は百名、佛國は三百二十名といふ統計なりとこの數と今回の戦役に於ける各國の優劣とを比較對照する時は如何に國民教育の普及を必要とするかは特に言を俟たざるべし。

露國にありては日露戦役前、教育を受けたるもの、數僅かに全人口の二割に過ぎざりき。以後大に之が必要を感じて普及に力めたりと雖、尙獨逸のそれと比較すべくもあらず。

我が國にありては近時次第に發展普及の域に達しつゝあるも尙一ヶ中隊六七十人中二三名の無教育者ありといふに至りては今後大に努めざるべからず。

次には堅忍持重の精神即ち粘り強き精神、我慢強き人をつくること之なり。

歐洲戦場に於ける各國兵が非常なる困苦を嘗めつゝあるは言ふまでもなし。獨逸が四圍に強敵を控へながら尙よく之に堪え、奥匈國は十數種の種族より成るも今日尙かくの如くなるは全くこの精神あるが爲なり。英佛國人亦よくこの精神を有す。

今の戦は昔の戦と異なりて頗る猛烈にして且つ悲惨なるものなり。されば外にある軍人の困苦は言ふに及ばず、内にある國民も食料は輕減せられ過重なる軍費を負擔せしめらるゝもよく之に堪えざるべからず。實に三十七八年役に於て我が國民の經驗せる困苦に比すればその幾十倍なるやを知らず。然るに我が國民は如何、上村艦隊が浦鹽艦隊を探索してこれを一掃せんとし、濃霧に妨げられて果さざりし時、國民の中には不滿を抱き不穩の行動に出でしものさへありしにあらざや。又此の度各地に勃發せし米騒動の如き、これ我が國民の短所を表明するものならん。由來我が國民は熱し易く又冷め易し。熱する時は水火をも辭せざれ共冷めたる時の行動は斯の如きものあり。これ我國民の長所にして又短所なり。

近き將來に於て我が國は強國を相手とりて戦ふの機あらん。宜しく堅忍持久の精神に富める國民を養成せざるべからず。軍隊にありても大にこの点に留意すると雖もその教育の期間甚だ短く十分にこの精神を徹底せしめんこと困難なり。されば普通教育に従事せらるゝ諸君よ、こゝに着眼せられて幼時よりこの精神の涵養に力められんことを希望す。特に青年の指導に當りては、物事にあき易く、又雷同し易き人物をつくらざる様注意すること肝

要なりとす。かくして始めて我が帝國の前途は有望なるべし。

堅忍持久の精神は退衛的のものにあらず。何所までも潑刺たる攻撃精神に満されたるものなり。常に最後の月桂冠はこの精神によりて得らるものなれば戦時平時と言はず、老年少年と言はず、勇往邁進事に當るの覺悟なかるべからず。

山口縣は師團内に於ても他に秀でたる所なり。殊に阿武郡は維新の大人物を出して地方精神界に偉大なる影響を與へたるものなり。其の源泉たる松陰先生の士規七則は實に我等の金科玉條とも言ふべく、特に質實、義勇、斃れて後止むの三箇條は堅忍不拔の精神を養ふに缺くべからざる要素にしてよく之を守らば不拔の精神は期せずして養成せらるるべし。この先生の遺訓によりて地方の青少年を指導せられ、君國のため益々御盡瘁あらんことを望む。

□ 小學校長集會

九月一日郡内小學校長集會を開催し指示したる事項左の如し

指示事項

一、教育品展覽會の效果に關する件

今回開設の教育品展覽會は出品點數七百有餘の多數に上り考案物の如き研究調査物の如き將又兒童成績物の如き從來に比し一段の進歩を見るに至りしは各位日常努力の跡を窺ふを得て本職の殊に欣快とする所なり然れども此等の出品物をして一時的のものたらしめず能く本會の効果を有効ならしめんと欲せば常に之れが利用研究に怠らずして改善發達を圖り以て教育の進歩に資せざるべからず爾今各位は能く此點に注意し部下教員を鼓舞督勵して益々堅實なる研究の歩を進め本會の効果を發揮すると共に他日又展覽會を開催するの時に當り最も着實有効なる出品物を得て所謂展覽の爲めの研究物たるの觀あらしめ益々教育實質の改善發達に努力せんことを切望す

二、青年團の指導に關する件

各位の盡瘁に依り青年團体の施設は近時大に見るべきものあるに至りたりと雖も現下の時局に顧み戦後の趨勢を稽ふるに尙は其の内容の充實と實質の洗練と兩つなから一段の策勵を加ふるを要する者あり各位は町村長在郷軍人分會長神職僧侶警察官並地方有志等と協力して内容の改善に努め修養方面の施設に一段の力を加

三、學事統計に關する件

□ 歩兵第四十二聯隊行軍

山口歩兵第四十二聯隊第一大隊は八月十五日早朝屯營出發一の坂の峻険を攀し佐々並村を經川上村に露營せり全村は嘗て軍隊の來れる事なき地なれば村民何れも業を休み迎送に努め殊に村吏員軍人會員青年團員等諸般の設備に斡旋し沿道各戸亦國旗を掲げ歓迎の意を表せり此日午後三時大隊長代理高木大尉以下將卒三百八名行軍喇叭の音勇ましく歩武堂々露營地たる川上村河原に着す着後村の希望に依り第一中隊は小學校に於て木村中尉指揮のもとに中隊密集教練を行ひ一齊射撃をなし訓練の要修養の必要なることを感せしめたり尙大隊長代理高木大尉は伊藤分會長の請に依り軍事講話を行ひ聽衆に多大の感動を與へたり右終て露營地に至るや村より准士官以上にピール鮎を其他に酒菓子、餅握飯等を饗し歡待至らざるなし明くれば十六日午前六時曉々たる行軍喇叭勇しく朝風に傳はり歩武堂々篠生村を經て飯營の途に着けり

又第二大隊は秋吉台に於ける連日の戰闘教練に元氣潑刺隊伍整正大隊長島少佐指揮のもとに將卒五百十九名二十五日午後八時秋吉台出發夜氣人に迫る頃ヒバリ峠を突破

へ剛健實質の氣風を養成すると共に補習教育に力を盡し生氣あり活氣ある團體たらしめんことを望む而して曩に郡教育會の施設に係る青年團指導講習會に於て山本講師の述べたる一日一善、模範日、早起獎勵の如きは青年修養上尤も切實なるものと認むるを以て青年團員をして之か實行を期せしむる様督勵せられたし

三、報德會振興に關する件

近時社會の實況に鑑み民心を作興して知徳の啓培に努め良風美俗を馴致することの急務なるは今更ら言を須ひす而して之れが方法に至りては各町村に設置せる報德會の如きは頗る有力なる施設たることを信じて疑はず各位は今後特に力を致して報德會の振興に努め益々堅實穩健なる發達をなさしめ以て有終の美果を收むべき様極力斡旋盡力を望む

□ 町村學務主任集會

九月十三、十四日の二日間町村學務主任集會を開催し注意したる事項左の如し

注意事項

- 一、學齡簿整理に關する件
- 二、期限事務に關する件

し明木村萩町を經二十六日午前四時春郷東分村松本市に着徹宵斡旋せる全村在郷軍人會員の歡待を受けたり斯くて午前六時演習命令は下れり將卒意氣益々振ひ第八中隊假設敵となり羽賀台に先行し殘部隊は島少佐指揮のもとに攻撃前進せり羽賀台上に兩虎相對し股々たる砲聲閃々たる銀尖反射し一進一退最後に天地も破れん賊聲と共に演習終了喇叭廣漠たる台上に響き部隊は收められたり幾百の觀覽者をして血湧き肉躍り實戦もかくやと疑はしめたりそれより隊伍を整へ露營地たる大井村松原に着せり豫て通知に接せる同村在郷軍人會員は架橋をなし道路を開き和船を設備し村吏員其他途上に堵列して歡迎せり亦村民多く業を休み陸續として露營地を參觀し夜に至るも人足絶へざりき着後軍隊は湯茶に渴を醫し村より准士官以上はビール梨を其他に饅頭を饗し軍旅を慰さめたり翌二十七日大隊編成をとき村吏員軍人會員其他多數の人々に見送られて明木村露營地に向け進軍せり

明木村に宿營せる第五中隊は途上の歡迎を感謝しつつ、宿營地に着す村長正副分會長青年團長の接待にて將校團のたために晚餐を饗し下士以下に酒酌を振舞たり在郷軍人會員青年團員徹宵歡待に勉め殊に露營地の設備の如き細微の点に至る迄用意極めて周到なり此日第六中隊の宿營地

たる佐々並村は將校を民家に下士卒を小學校に分宿せしめたり將校に酒食を饗し下士以下に酒肴ラムチ、オハギを贈り犒軍に勉めたり當日春村には第二大隊本部及第七中隊宿營せり大隊本部は平田氏邸に第七中隊は小學校に宿營せり、將校に酒食を饗し下士卒に酒餅饅頭を贈り速路の旅情を慰めたり第八中隊の露營地たる川上村に於ては將校團は長井氏邸に宿し優遇至らざるなく下士以下小學校々舎に分宿しビール菓子餅等を贈りて慰め沿道各區ラムチサイダー餅菓子等を贈り迎送す就中伊東喜市氏はラムチを全將卒に贈りたりとは誠に奇特のことなりとす二十八日各地に宿營せる各中隊は村民に送られ優遇を感謝しつつ、佐々並村に集合再び大隊を編成し互に健康を祝し嘯々たる喇叭の音と共に一ノ坂を經飯營の途につけり

地方馬検査

本郡内に於ては八月十九日より豫定の通地方馬の検査を施行せられたり検査官は左記の通にして検査終了後當日成績に就きて馬匹の使用、飼育其他馬匹に關し有益なる口演あり尙佐々並萩町検査場には第五師團獸醫部長川合與七郎氏徳佐村検査場には第五師團參謀長西原爲五郎氏視察の爲め臨場せらる

検査の成績は別表の通にして恰も検査中途に馬匹微殺の事あり之か爲徳佐、生雲村の検査場にては豫定馬數より減少したるは止むを得ざるなり(参考資料参照)

- 輜重兵第五大隊附陸軍一等獸醫平橋平三郎
- 野砲兵第五聯隊附陸軍三等獸醫稻川善夫
- 第五師團獸醫部附陸軍一等蹄鐵工長濱田直一
- 輜重兵第五大隊附陸軍輜重兵曹長熊野棗次

夏期蕪市場狀況

本郡農會の經營に係る本年春期に於ける萩及徳佐各蕪市場共に良好なる成績を呈せしか尙夏期蕪市場は定期を七月廿八日より八月四日迄八日間臨時時を八月六日一日間開設し夏蕪の取扱數量は八百八貫其の價額五千七百八十三圓即ち前年の數量に於て四十四貫を増加せしも價額は反て千五百七十圓を減少せり是は平均單價か前年の九十五錢一厘に比し二十三錢五厘低廉なりしか爲にして本年に於ける單價は最高八十九錢九厘最低六十一錢平均七十一錢六厘を呈し又徳佐蕪市場は七月三十一日より八月六日迄七日間開設し夏蕪の取扱數量は六百六十貫其の價額四千八百五十三圓にして最高八十八錢九厘最低六十錢平均七十三錢五厘を示せり而して本年の總取扱數量は千四

辭令

- 任山口縣阿武郡技手 齋藤梅雄
- 給九級俸勸業係勤務を命す(九月二日)
- 任山口縣阿武郡技手 近藤定市郎
- 給月俸壹圓(九月二日)
- 任山口縣阿武郡技手 澄川藤藏
- 給月俸壹圓(九月二日)
- 明倫尋常高等小學校訓導 長澄市衛
- 阿武郡立實科高等女學校助教諭に任す 田總百合之介
- 四級俸當分三十三圓(七月三十一日)
- 萩中學校教諭 田總百合之介
- 阿武郡立實科高等女學校圖書教授囑託
- 月手當十二圓(八月二十九日)
- 公立實業學校長 高村茂太郎
- 九級俸下賜(八月十四日)
- 萩商業學校書記 久保英一
- 月俸十六圓給與(八月十日)
- 多磨尋常高等小學校訓導兼校長 櫻井民次郎
- 阿武郡田方崎村立多磨圖書館長に任す(八月九日)
- 小川尋常高等小學校上小 小河竹三郎
- 川下小川尋常小學校
- 囑託を解く(八月三十日)

町村吏員異動

大正七年九月七日就職

篠生村長 口羽 順藏

新任

小學校教員異動

新任

新任月日	校名	職名	俸給	氏名
大正七年八月廿一日	多倫磨	准訓導	七級上俸	波田龜一
全上上	明倫磨	訓導	九級上俸	磯永興之
全上上	白川	准訓導	八級上俸	森田千尋

轉任

轉任月日	轉任校名	舊任校名	職名	俸給	氏名
大正七年八月十五日	野呂川	上	訓導兼校長	八級上俸	松田好松

退職

退職月日	校名	職名	氏名
大正七年七月廿一日	育英	准訓導	松原淨二
全上上	福見	全訓導	桐山幸雄
全上上	三磨	全訓導	阿武猛雄
全上上	多磨	全訓導	三上成子
全上上	多磨	全訓導	佐伯成式

小學校教員年功加俸

辭令月日	校名	職名	加俸給	氏名
大正七年七月三十一日	明倫	全訓導	三十圓	宇佐川ヨチ
全上上	全上	全訓導	三十圓	守上キフ
全上上	全上	全訓導	三十圓	野上精一
全上上	全上	全訓導	三十圓	金子美成
全上上	全上	全訓導	三十圓	池田宗亮
全上上	全上	全訓導	三十圓	藤田ヤエ
全上上	全上	全訓導	三十圓	河野エ
全上上	全上	全訓導	三十圓	堀江ヨシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	小島潤一
全上上	全上	全訓導	三十圓	志賀定彦
全上上	全上	全訓導	三十圓	落谷ウメ
全上上	全上	全訓導	三十圓	溝部好治
全上上	全上	全訓導	三十圓	松田一
全上上	全上	全訓導	三十圓	濱内貫助
全上上	全上	全訓導	三十圓	山原トシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	松原トシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	三輪トシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	岡田トシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	金子トシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	古川トシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	吉田トシ
全上上	全上	全訓導	三十圓	秋枝トシ

參考資料

阿 武 郡 報

第二十六號

町村名	種別		乘		馬		受檢馬對全格馬ノ百分比	順位
	下調數	出場馬數	馬	格	馬	計		
萩	二〇	一九	二	一三	一	一五	七八、九	一三
椿郷東分	二二	二六	三	一六	一	一九	七三、一	一八
山田	三六	三〇	三	一八	一	三〇	一〇〇、〇	一一
三見	一三	二二	二	一七	一	一〇	九七、二	一一
明木	七四	八四	二	四五	一	八三	八三、三	一一
佐並	一四	一三	一	八二	一	一五	八七、一	一一
川上	三五	四二	一	四二	一	三五	九二、八	一一
篠生	九七	七〇	一	三二	一	三九	七四、二	一四
地生	二六	八三	一	三〇	一	二九	九二、八	一七
徳福	一四	八二	一	三〇	一	二二	七四、六	一六
嘉年	二〇	四〇	一	二八	一	二二	五八、五	一六
高侯	一五	五〇	一	二八	一	二二	七四、六	一六
吉部	七六	四二	一	二八	一	二二	九〇、〇	一六
福川	九一	三〇	一	二八	一	二二	五二、〇	一六
紫井	一四五	二四	一	二八	一	二二	三三、三	一六
大井	四〇	九五	一	二九	一	二二	七一、〇	一六
合計	二〇	一九	二	一三	一	一五	七八、九	一三

大正七年八月施行

目 次

一、地方馬検査成績調査表

二、麥作状況調査表

三、春蚕状況調査表

町村名	種別	下調數		出場馬數		乘馬合		馬格		馬計		受檢馬對台格馬ノ百分比	順位
		大	小	大	小	大	小	大	小	大	小		
奈古	古	四三	八	四四	八	一一	一一	一六	九	三六	八一、八	一一	
宇田	郷	七五	七	七六	六	一一	一一	三五	二	五七	六二、五	一一	
福賀	賀	二七	二	二七	三	二二	二二	二二	一	一	七五、〇	二一	
須佐	佐	四三	七	四九	九	三二	三二	二二	七	三二	二六、〇	二五	
彌富	富	八七	八	九六	六	一九	一九	三七	二	八一	六五、三	二〇	
小川	川	二五	二	二六	二	二	二	一二	六	二〇	八四、三	一〇	
田島	島	二五	二	二六	二	二	二	一二	六	二〇	七六、九	一四	
六島	島	二五	二	二六	二	二	二	一二	六	二〇	七六、九	一四	
見島	島	二五	二	二六	二	二	二	一二	六	二〇	七六、九	一四	
合計	計	一、八六一	一	一、三四七	一	二〇二	二〇二	六三三	一	一、〇六一	七八、七		

二、麥作狀況調査表

大正七年

町村名	種別	作付		反別		收穫		高		價		格	
		大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小
奈古	古	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
宇田	郷	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
福賀	賀	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
須佐	佐	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
彌富	富	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
小川	川	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
田島	島	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
六島	島	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
見島	島	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二
合計	計	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二	二二	二

三、春蚕狀況調査表

大正七年

年次	飼育		繭		玉		繭		出		繭		計	
	戸數	枚數	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
前年	一、六三一	一、〇五五	一、一五五	一〇、〇六六	七二	二二六	二、九三三	二五	三	六	二、九三三	二五	三	六
大正七年	一、六三一	一、〇五五	一、一五五	一〇、〇六六	七二	二二六	二、九三三	二五	三	六	二、九三三	二五	三	六

- 一、運用の妙は一心に存す
- 一、一を賞し以て百を勤め、一を罰し以て衆を懲す
- 一、心一にして意専なれば然る後に功觀るに足る
- 一、十讀は一寫に如かず
- 一、智は圓ならんことを欲し、行は方たらんことを欲す

阿武郡教育會懸賞募集廣告

懸賞問題

金壹圓ヲ與ヘナハ如何ニ有効ニ利用セントスルカ

注意要項

- 一、應募者ハ可成詳細ニ具體案ヲ認メ提出スルコト
- 二、應募者ハ青年團員タルヘキコト但シ團體名ヲ以テ具體案ヲ作製シ提出スルモ妨ケナキモ成團員個人ヲ可トス
- 三、期限ハ本年九月三十日限リトス
- 四、答案ハ本會ニ於テ審査ノ上有効ト認ムルモノ拾人ヲ撰定シ各別ニ金壹圓ヲ贈リ其ノ實行ヲ期セシムルコト

大正七年九月

阿武郡教育會